



クラウド上の Cisco ISE

- [クラウド上の Cisco ISE の概要 \(1 ページ\)](#)
- [通信、サービス、およびその他の情報 \(2 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(3 ページ\)](#)

クラウド上の Cisco ISE の概要

Cisco Identity Services Engine (ISE) がクラウドサービス プロバイダーからネイティブに利用可能になったことにより、変化するビジネスニーズに合わせて、Cisco ISE 展開をすばやく簡単に拡張できるようになりました。Cisco ISE は Infrastructure as Service ソリューションとして利用できるため、場所を問わずネットワークアクセスを迅速に展開し、サービスを制御できます。

ホームネットワークの Cisco ISE ポリシーを、次のクラウドプラットフォーム上の新しいリモート展開に安全に拡張できます。

- Amazon Web Services : Cisco ISE リリース 3.1 以降
- Azure Cloud Services : Cisco ISE リリース 3.2 以降
- Oracle Cloud Infrastructure : Cisco ISE リリース 3.2 以降

クラウドプラットフォームでの Cisco ISE 展開のパフォーマンスと拡張性については、『[Performance and Scalability Guide for Cisco Identity Services Engine](#)』の「Cisco ISE on Cloud」のセクションを参照してください。

Cisco ISE の詳細については、『[Cisco Identity Services Engine End-User Documentation](#)』を参照してください。

サポートされているクラウドプラットフォームによってホストされているクラウドネイティブのイメージまたはインスタンスを介して起動される Cisco ISE の場合：

- すべてのクラウドプラットフォームで、インスタンスのセットアップ時に設定するパスワードはプレーンテキストとして保存されます。ただし、プレーンテキストのパスワードはセキュリティリスクをもたらす可能性があります。そのため、クラウドプラットフォームから起動される Cisco ISE では、Cisco ISE GUI に最初にアクセスするときにログインパ

スワードをリセットする必要があります。次に、エラーを回避するために、更新されたパスワードで API ベースの自動化スクリプトも更新する必要があります。

- クラウドプラットフォームを介して起動される Cisco ISE インスタンスのデフォルトのユーザー名は **iseadmin** です。ユーザーデータに別のユーザー名を入力した場合でも、Cisco ISE インスタンスはユーザー名 **iseadmin** で作成されます。



- (注) AWS を介して起動される Cisco ISE リリース 3.1 インスタンスの場合、デフォルトのユーザー名は **admin** です。

クラウドプラットフォームでの Cisco ISE ライセンス

Cisco ISE は、クラウドプラットフォームで利用可能な所有ライセンス持ち込み (BYOL) ソリューション利用しています。共通 VM ライセンスを使用して、使用する Cisco ISE 機能に必要な他の Cisco ISE ライセンスに加えて、クラウドプラットフォームで Cisco ISE を有効にします。Cisco ISE ライセンスについては、『[Cisco ISE Ordering Guide](#)』を参照してください。

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコサービス](#) にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[シスコサポート](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco DevNet](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

Cisco バグ検索ツール

[Cisco バグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

その他の参考資料

次のリンクには、Cisco ISE で作業するときを使用できる追加のリソースが含まれています。
https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/security/ise/end-user-documentation/Cisco_ISE_End_User_Documentation.html

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。